

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 本城 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

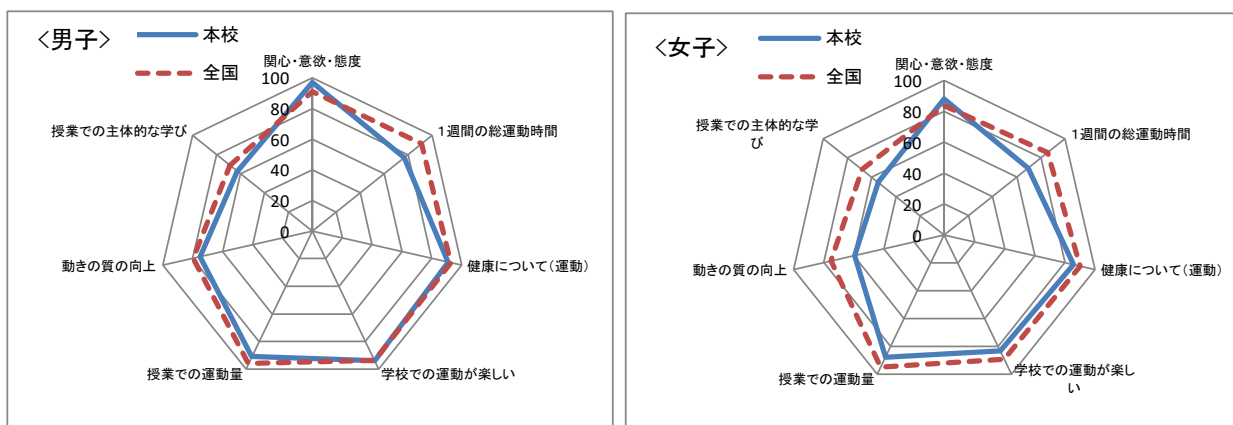
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- 本校の児童は、男女ともに健康に対する意識が高い。特に食生活や睡眠時間の大切さを十分に理解している。
- コロナウイルスを理由に、運動を十分にできていない児童がいる。
- 男女ともに、主体的に学ぶ項目について課題が見られた。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育専科を中心として、主となる運動に対して、補助運動に取組み、「できた」「できそう」「してみたい」と思える学習展開の構築に励む。また、食育について栄養教諭を中心として、さらなる啓発を行う。
- 低学年から系統的な運動の体の動かし方に取り組む。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 体育委員会を中心として、体力向上週間を設定し、持久走や縄跳び(短縄)を継続的に続けていく。
- 本城小だより・学年通信等を通じて、体育的行事の目的等を発信し、保護者と一体となり、運動をしたいと思う気持ちを大切にできるよう、心のケアに努める。